

令和7年7月こあみ句会定例作品

麦秋や子の耳打ちのこそばゆし

鈴木るる先生

耳遠し会話も減りて沙羅の花

村上 和之

単線の駅や向日葵立ちつくす

湯澤 安矢子

封切らぬままの香水巴里遠し

佐原 敦子

一つすれば一つ忘るる大暑かな

植田 好男

灯台を彼方に向日葵畑かな

小泉 良子

向日葵や街の防犯任せたり

福澤 利夫

耳貸しし選挙カー消ゆ夏の風

衛藤 伊久代

嫁ぐ娘に父の算段うなぎ飯

菅野 裕夫

耳よりの話半ばよ梅雨の雷

吉村 希世子

ひまわりに問ふ争いが止まる日を

醤油 和男

二合半は今か今かと鰻串

村谷 卓一

以 上